

公益財団法人日本セーリング連盟

World Sailing国際ナショナル・メジャラー（IM）候補者の推薦基準

本基準は、World Sailing のIMの資格認定申請をしようとする者（以下、申請者という。）について、公益財団法人日本セーリング連盟（以下、連盟という。）ワンデザインクラス計測委員会（以下、ODC計測委員会という。）の小委員会であるIM候補者推薦委員会（以下、推薦委員会という。）が、推薦に関する適否を得ることに資するためのものである。

1. 推薦委員会の構成

- (1) 本委員会は、IM候補者推薦申請があった場合、その都度ODC計測委員会委員長及び委員、国際ナショナル・メジャラー及び連盟レース委員長並びにルール委員長等を含む7名の委員にて構成するものとする。
- (2) 推薦委員はODC計測委員長が任命する。
- (3) 推薦委員会の事務局として、ODC計測委員会事務局がその任にあたるものとする。
- (4) 推薦委員会の構成員が申請者となる場合は、その者は当該年度の委員となることはできない。
- (5) 欠員を生じた場合には、上記（2）により委員を補充するものとする。
- (6) 推薦委員会の委員長は、委員の互選により選任されるものとする。

2. 推薦委員会の機能

- (1) 推薦委員会は、提出された書類に基づき審査し、推薦基準に照らして適否を判断する。適否の結果は速やかに連盟理事会に報告し、適任者については、その承認を得るものとする。ただし、World Sailing所定期限の10日前までに理事会が開催されない場合には、ODC計測委員長は、連盟会長の承認をもって上記（1）所定の理事会承認に代えることができる。その場合、ODC計測委員長は、事前に（IM推薦委員会の）委員長にその旨を報告する。
- (2) 上記（1）により理事会の承認を得た者については、IMの候補者としてWorld Sailingへ推薦するものとする。

3. 推薦基準

- (1) World Sailing規定の要件を満たしていること。
- (2) 当該クラス協会からの推薦を受けていること。
- (3) 連盟としての推薦基準
 - ① 計測の専門的知識及び技術に長けていること。
 - ② 人格・常識に欠ける点がないこと。

- ③ 連盟によって承認された公式計測員であること。なお、当該クラスがERS採用クラスである場合は、連盟等が開催するERS講習会を受講した公式計測員であること。
- ④ 日本に住んでいること。
- ⑤ メジャーとしての活動の主たる場所が日本であること。
- ⑥ 申請年の6月末日以前の過去4年間に2回以上、当該クラスの全日本選手権大会もしくは国内の主要な大会（別表1）の計測委員長もしくは委員長に準ずる者としての職務を経験していること。
- ⑦ 推薦委員会委員の5名以上の賛成が得られること。

4. 提出期限

申請年の6月末日までに申請に必要な関係文書を連盟事務局宛送付すること。

5. その他

- (1) 推薦委員会の細目については、ODC計測委員長が定める。
- (2) 本規定は、平成18年5月15日から施行する。
- (3) 上記3. (3) 連盟としての推薦基準③については、連盟ナショナル・メジャー規程（仮称）が制定・施行されるまでの期間は適用を猶予する。
- (4) 平成29年5月27日 一部改訂。

「別表-1」

国内の主要な大会とは次のものを言う。

- 1. 国民体育大会
- 2. 国民体育大会リハーサル大会
- 3. 全日本実業団ヨット選手権大会
- 4. 全日本学生ヨット選手権大会
- 5. 全日本高等学校ヨット選手権大会
- 6. オリンピックウィーク
- 7. ナショナルチーム選考レース
- 8. インターナショナル・ジュリーを構成する大会
- 9. その他、ODC計測委員長が認める大会